

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 210-0865

住 所 神奈川県川崎市川崎区千鳥町10番1号

氏 名 日本合成樹脂株式会社

代表取締役社長 宮田 直人 印

(代理人)取締役工場長 永井 英一

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策等の推進に関する条例第11条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	日本合成樹脂株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区千鳥町10番1号		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	18	プラスチック製品製造業 (別掲を除く)
主たる事業 の内容	石油樹脂製造		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量		2,785 k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO <sub>2</sub>
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	2022 年度 ~ 2024 年度 (報告年度 2024 年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。  
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。  
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。  
4 ※印の欄は記入しないでください。  
5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

### 事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況 (第1、2、4号該当者等)

(1) 計画期間における温室効果ガスの排出の量等の状況

ア 温室効果ガスの排出の量

	基準年度		第1年度		第2年度		第3年度		目標排出量
	(2020年度)	(2020年度)	(2022年度)	(2022年度)	(2023年度)	(2023年度)	(2024年度)	(2024年度)	
排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	(実) 5,559	(実) 5,559	(実) 4,674	(実) 4,674	(実) 4,242	(実) 4,242	(実) 5,157	(実) 5,157	(実) 6,032
	(調) 5,559	(調) 5,559	(調) 4,674	(調) 4,674	(調) 4,242	(調) 4,242	(調) 5,157	(調) 5,157	(調) 6,032
削減率			(実) 15.9 %	(実) 15.9 %	(実) 23.7 %	(実) 23.7 %	(実) 7.2 %	(実) 7.2 %	(実) -8.5 %
			(調) 15.9 %	(調) 15.9 %	(調) 23.7 %	(調) 23.7 %	(調) 7.2 %	(調) 7.2 %	(調) -8.5 %

イ 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値 (任意記載)

原単位等の活動量		生産量			原単位等の単位	KL/t			
	基準年度		第1年度		第2年度		第3年度		目標とした値
	(2020年度)	(2020年度)	(2021年度)	(2021年度)	(2022年度)	(2022年度)	(2023年度)	(2023年度)	
排出量原単位等の値	0.2426	0.2426	0.2875	0.2875	0.2657	0.2657	0.2585	0.2585	0.2353
活動量の値	12,680	12,680	8,884	8,884	8,574	8,574	10,775	10,775	-
排出量原単位等の削減率			-18.5 %	-18.5 %	-9.5 %	-9.5 %	-6.6 %	-6.6 %	3.0 %
			(調) -18.5 %	(調) -18.5 %	(調) -9.5 %	(調) -9.5 %	(調) -6.6 %	(調) -6.6 %	(調) 3.0 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況等についての説明

第1年度	仮復旧設備での生産のため、CO2排出量自体は低くなっているが、エネルギー原単位としては、生産速度の低下により、目標値に届いていない状況	
第2年度	運休(5月)と定期修理(10月)による、生産量の低下、及び気温上昇による燃料削減等に伴い、CO2の排出量は低下している。 燃料、蒸気管理の徹底、気温上昇により、電気を除いて、エネルギー、燃料、スチーム原単位は、目標をクリアできた。	
第3年度	エネルギー原単位(上期)0.308kℓ/製品 <sup>ト</sup> (下期)0.235kℓ/製品 <sup>ト</sup> から 上期は、設備トラブル、製品在庫調整のため装置稼働低下でエネルギー原単位悪化した。 下期は、安定運転(設備トラブル・品質トラブル削減、効率的な生産計画の策定)により削減目標達成できることができた。	
計画期間における排出量増減等の評価 (第3年度の報告時に記載)		目標達成には課題があるが少しずつ改善している、安定運転・高稼働運転により原単位目標は達成したい。(継続的改善)
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)		省エネについては、安定運転(設備トラブル・品質トラブル削減、効率的な生産計画の策定)により削減目標達成できることは確認、スタッフ強化により改善項目抽出にもとりくんでゆく

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況 (全社目標) (任意記載)

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況

(1) 措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない装置を実施した場合は、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

<p>計 画</p>	<p>(1) 冷凍機の省エネタイプへの更新・運転開始                  (2) LED照明への継続的な切り替え                  (3) 装置稼働に合わせた加熱炉運転方法の確立                  (4) プロセス配管保温の劣化に対する計画補修の継続                  (5) 装置停止中の不要エネルギーの停止継続</p>
<p>第1年度</p>	<p>(1) 新型冷凍機、省エネ、ノンフロンタイプの運転を確立し安定運転中                  (2) LED照明への継続的な切り替えを実施 26% LED化完了                  (3) 装置稼働に合わせたバーナー選択等、加熱炉最適化運転を実施                  (4) プロセス配管保温の経年劣化に対する計画補修を実施                  (5) 装置停止中の不要エネルギーの停止を継続実施</p>
<p>第2年度</p>	<p>(1) 新型冷凍機、省エネ、ノンフロンタイプの運転を確立し安定運転中                  (2) LED照明への継続的な切り替えを実施 50% LED化完了                  (3) 装置稼働に合わせたバーナー選択等、加熱炉最適化運転を実施                  (4) プロセス配管保温の経年劣化に対する計画補修継続                  (5) 装置停止中の不要エネルギーの停止を継続実施</p>
<p>第3年度</p>	<p>(1) 新型冷凍機、省エネ、ノンフロンタイプの運転を確立し安定運転中                  (2) LED照明への継続的な切り替えを実施 50% LED化完了                  (3) 装置稼働に合わせたバーナー選択等、加熱炉最適化運転を実施                  (4) プロセス配管保温の経年劣化に対する計画補修継続                  (5) 装置停止中の不要エネルギーの停止を継続実施</p>
<p>計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)</p>	<p>目標達成には課題があるが少しずつ改善している、安定運転・高稼働運転により原単位目標は達成したい。(継続的改善)</p>

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 前年度における再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(追加検討を実施した場合は「○」、追加の検討を実施していない場合は「×」を記載してください。また、追加検討を実施した場合はその結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	追加検討の有無	検討結果
太陽光	×	
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他 ( )		
その他 ( )		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 前年度に実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入状況

(追加導入がある場合は「○」、追加導入がない場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	追加導入の有無	設備等の種類	追加導入の有無
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム(FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他 ( )	
EV、PHV、FCV	×	その他 ( )	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	なし

5 その他、地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	(1) 森林保全活動への参加 (2) 一般廃棄物削減活動 (3) 産業廃棄物の削減(乾燥不良及び雨水混入等の回収) (4) 不合格品の削減活動
第1年度	(1) 森林保全活動10/22参加 (2) 5S活発化により、目標原単位対比18%良化 (3) 産業廃棄物の削減活動(廃石灰乾燥不良への油分回収)継続、目標原単位対比11%良化 (4) 不合格品の削減活動継続、目標値対比1%良化
第2年度	(1) 森林保全活動10/21参加 (3) 産業廃棄物の削減活動(廃石灰乾燥不良への油分回収)継続、 (4) 不合格品の削減活動継続、目標達成
第3年度	(1) 森林保全活動10/5参加 (3) 産業廃棄物の削減活動(廃石灰乾燥不良への油分回収)継続 (4) 不合格品の削減活動継続、目標達成

6 基準年度からのエネルギー起源CO<sub>2</sub>の排出の量等の推移 (1、2号該当者等)

(1) 事業者単位

	基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
エネルギー起源 CO <sub>2</sub> 排出量	5,559 t-CO <sub>2</sub>	4,674 t-CO <sub>2</sub>	4,242 t-CO <sub>2</sub>	5,157 t-CO <sub>2</sub>
原油換算エネルギー 使用量	3,075 KL	2,547 KL	2,277 KL	2,785 KL
事業所の数	1	1	1	1

(2) 事業所等単位

ア 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO <sub>2</sub> の排出量 (t-CO <sub>2</sub> )			
		基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
日本合成樹脂株式会社	川崎市川崎区千鳥町10番1号	5,559	4,674	4,242	5,157

イ 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO <sub>2</sub> の排出量 (t-CO <sub>2</sub> )			
		基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度